

2026. **3**  
No. **578**

# 調査月報

---

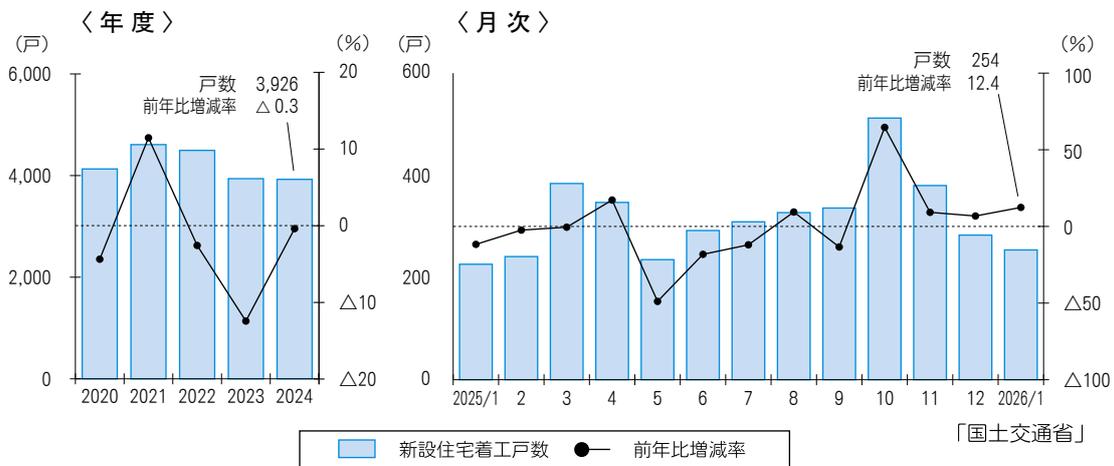
県内経済の動向	1
県内主要業界の動向	4
県内経済トピックス	10
主要経済指標	11
駐在員レポート	15

---

# 県内経済の動向

## グラフでみる県内景気

### 県内新設住宅着工戸数推移



○ 2026年1月は、254戸で前年比12.4%増となり、4か月連続で前年を上回った。住宅着工戸数は足元で底堅い動きかみられる。

## 概況

最近の県内景気（1月～2月）は、横ばい圏で推移しているが、一部に持ち直しの兆しが窺われる。生産面においては、機械工業が上向きつつある。需要面においては、設備投資で一部に慎重姿勢が窺われるほか、個人消費も盛り上がりを欠いている。

**需要：**個人消費は、気温の低下が進み冬物衣料が堅調だったほか、家電品にも動意がみられたが、節約志向が定着するなかで、総体では盛り上がりを欠いている。設備投資は、機械設備や研究開発投資で動きがみられる一方、建設投資は資材価格の上昇などを背景に慎重姿勢が続いている。

**生産：**機械工業は、スマートフォン向け電子部品や自動車部品など一部に弱い動きがみられる一方、半導体製造装置などの生産用機械が総じて改善傾向にあるほか、生成AI関連も好調を維持するなど、総じて上向きつつある。地場産業関連は、一部に堅調な動きもみられるが、国内需要の縮小や原材料価格の上昇などにより、全体としては厳しい局面が続いている。

## 消費動向

1月～2月の商況をみると、気温の低下が進み冬物衣料が堅調だったほか、家電品にも動意がみられたが、節約志向が定着するなかで、総体では盛り上がりを欠く。

1月の乗用車販売は、前年同月比9.1%減（普通車13.5%減、小型車1.1%増）と、6か月連続の前年比減少。

1月の県内観光は、前年を上回る入込み。中旬以降は地域によってばらつきがみられたが、年始に満室となった宿泊施設が多く、総体での入込みは順調。

## 建設動向

**住宅建設：**新設住宅着工戸数（1月）は、前年同月比12.4%増と4か月連続の増加。利用関係別でみると、持家（前年同月比14.4%減）が2か月ぶりの減少、貸家（同96.1%増）が2か月ぶりの増加、分譲住宅（同3.6%増）が5か月連続の増加。

**公共工事：**公共工事保証請負額（1月：東日本建設業保証㈱）は72億65百万円で、前年同月比33.9%の増加。発注者別にみると、国が前年同月比69.2%減少、県が同31.7%増加、市町村が同118.5%増加。

## 雇用情勢

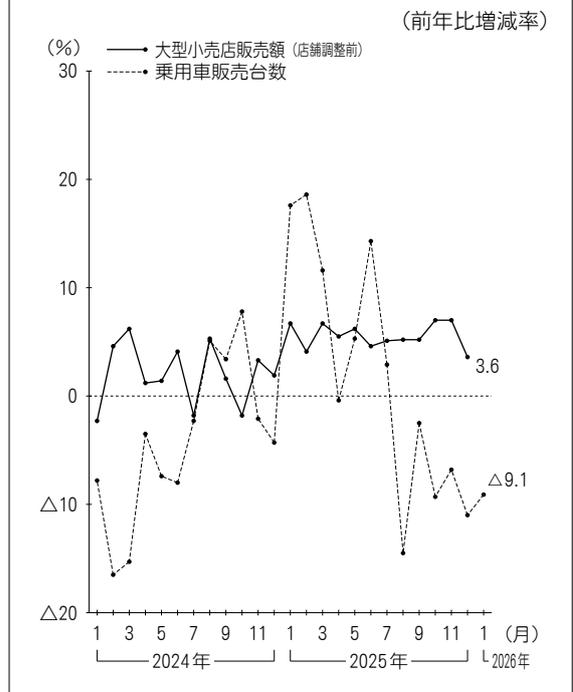
1月の有効求人倍率は1.32倍で、前月と同水準。

新規求人数は、前年同月比1.8%減と8か月連続の減少。産業別では、建設業、運輸業・郵便業、学術研究・専門・技術サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業、医療・福祉等は増加、製造業、情報通信業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、サービス業等は減少。

## 企業倒産

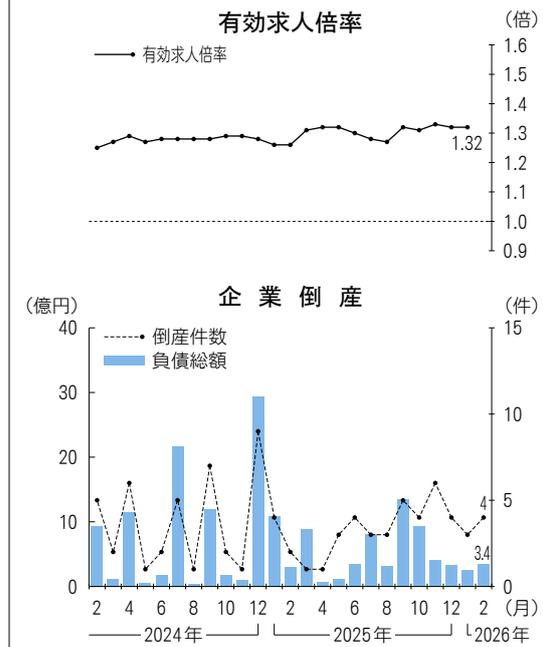
2月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は4件、負債総額は3億40百万円（東京商工リサーチ調べ）。前月と比べて件数は1件増加、負債総額も94百万円増加。

### 大型小売店販売額・乗用車販売台数推移



「経済産業省・山梨県自動車販売店協会」

### 雇用情勢・企業倒産の推移



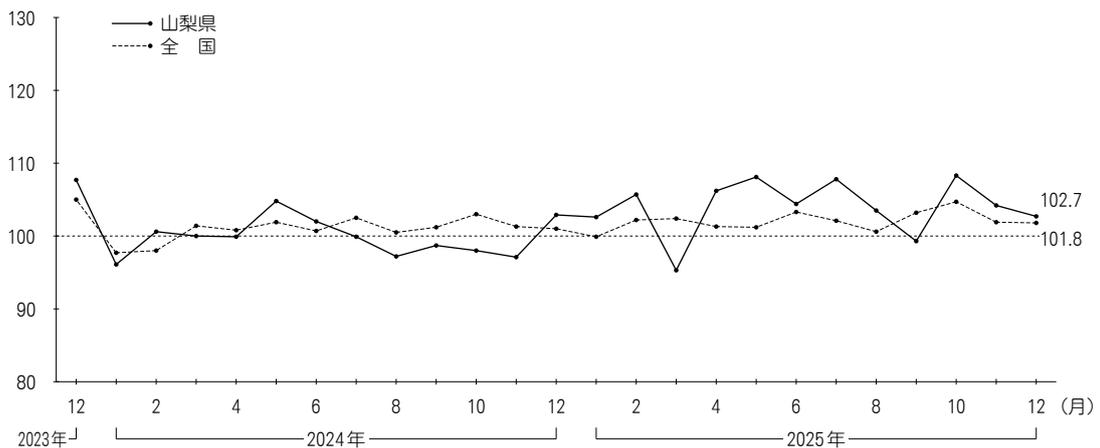
「山梨労働局職業安定部・東京商工リサーチ甲府支店」

## 生産・出荷動向

- 食品**：ミネラルウォーターは、出荷が堅調を維持。冷菓類は、出荷が好調に推移。気温の上昇により冬季の需要が拡大しているほか、新製品の引き合いも増加し、生産がフル稼働の事業者も。ワインは、出荷が前年を下回る水準で推移。
- ニット**：受注面をみると、春夏物の受注は前年を下回る水準で推移。消費者の節約志向は根強く、店頭販売の鈍い状況が続いており、アパレルメーカーは引き続き発注に慎重な姿勢。事業者からは追加受注を期待する声も。
- 織物**：紳士服裏地は、受注・生産が軟調に推移。婦人服地は、総体では受注・生産が横ばい圏で推移。高価格帯の製品向けが堅調な一方、中価格帯の製品向けは、アパレルメーカーからの発注が前年を下回る。
- 宝飾**：受注・生産は、横ばい圏で推移。国内向けは、比較的安価なライトジュエリーの受注が増加しているほか、18金など高価格帯の製品も資産性の高さから堅調に推移。海外向けは、これまでメイン先であった中国向けが低調に推移。
- 電気機械、情報通信機械、電子部品・デバイス**：コンピュータ数値制御装置は、海外での工作機械需要回復を背景に、受注・生産が堅調に推移。電源装置の受注・生産は、公共インフラ向けや産業機器向けが底堅く推移。生成AIの需要拡大に伴いデータセンター向けも増加傾向。
- 生産用機械**：半導体製造装置は、受注・生産が増加傾向で推移。取扱製品などによるばらつきはみられるものの、一部では急激な増産要請への対応に苦慮する先も。工作機械及び関連部品は、受注・生産が全体としては底堅く推移。
- 輸送機械**：自動車部品の受注・生産は、納入先や取扱車種などによるばらつきはみられるが、全体としては力強さを欠く。EV（電気自動車）需要の落ち込みや生産内製化の進展などにより、中国向けが停滞。
- 汎用・業務用機械**：運搬機械は、受注・生産が前年を上回る水準で推移。海外向けが堅調なほか、公共インフラが更新時期を迎えるなかで国内向けも伸長。プリンタ用部品は、ペーパレス化の進展を背景にオフィス向けの受注・生産が弱含み。

### 山梨県鉱工業生産指数推移

(2020年 = 100、季節調整済)

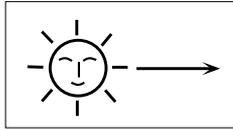


「経済産業省・県統計調査課」

- 12月の鉱工業生産指数は102.7で前月比1.4%の低下。
- 前年比（原数値）では1.1%の上昇となり、9か月連続の上昇。
- 業種別にみると、電気機械工業、窯業・土石製品工業、業務用機械工業等の7業種が上昇、食料品工業、生産用機械工業、情報通信機械工業等の9業種が低下。

# 県内主要業界の動向

## 食品



### 冷菓類は出荷が好調

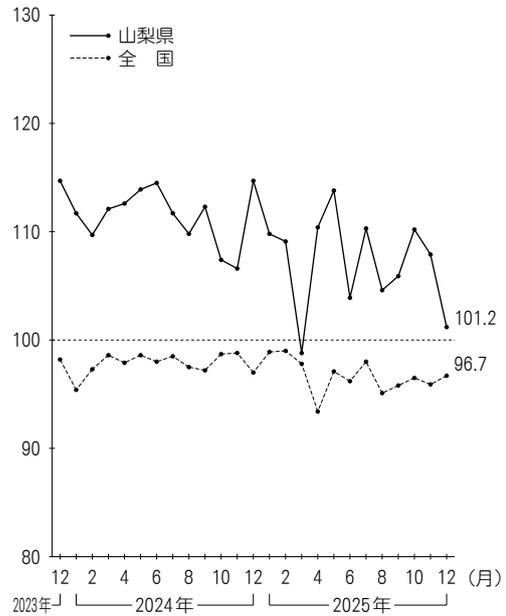
ミネラルウォーターは、日常的に購入する消費者が増加し、生活必需品として定着するなか、出荷が堅調を維持している。

冷菓類は、出荷が好調に推移している。気温の上昇により以前は閑散期であった冬季の需要が拡大しているほか、新製品の引き合いも増加しており、生産がフル稼働となっている事業者もみられる。

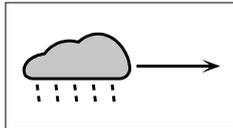
ワインは、若者のアルコール離れなどにより市場が弱含んでおり、出荷は前年を下回る水準で推移している。このようななか、低アルコール製品や、手軽に飲める小型ボトル製品などで市場の拡大を図る動きがみられる。

### 食料品工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



## ニット



### 春夏物の受注は前年を下回る水準

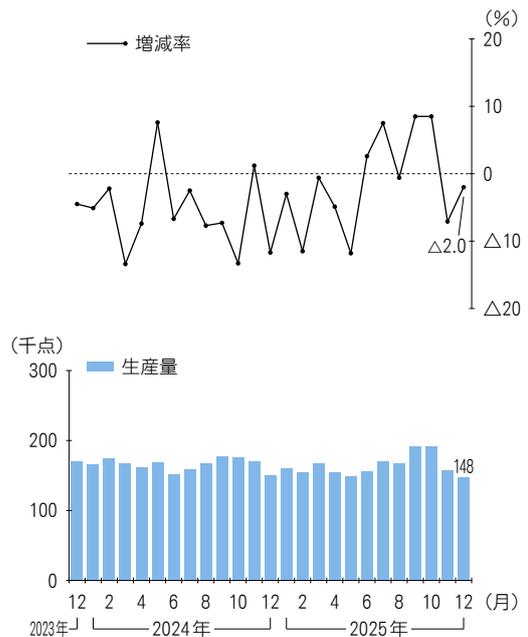
春夏物の生産が本格化しており、出荷も始まっている。

受注面をみると、春夏物の受注は前年を下回る水準で推移している。消費者の節約志向は根強く、店頭販売の鈍い状況が続いており、アパレルメーカーは引き続き発注に慎重な姿勢をみせている。事業者からは、気温の上昇とともに春物への切り替えが進むなか、追加受注を期待する声が聞かれる。

生産面をみると、春夏物の取り扱いで稼働率は上昇傾向にあるが、軟調な受注状況から例年の生産水準を下回っており、協力会社への外注も減少している。

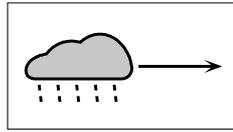
### 全国ニット製セーター・カーディガン・ベスト類生産推移

(前年比増減率)



「繊維統計月報」

## ■ 織物



### 婦人服地は横ばい圏で推移

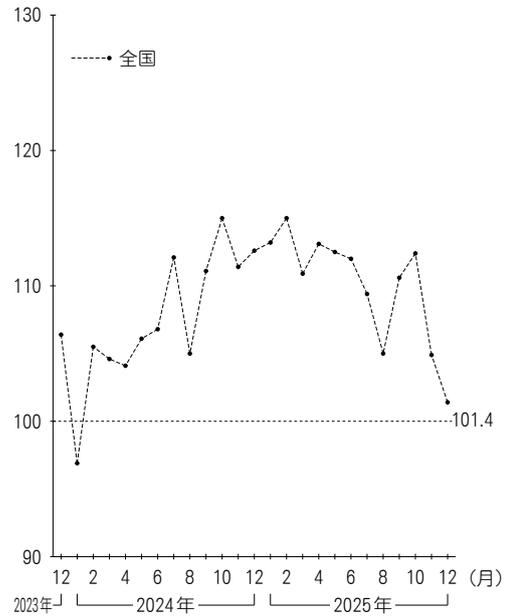
紳士服裏地は、受注・生産が軟調に推移している。量販店を中心にスーツの動きが鈍く、メーカーは春夏物の発注に慎重な姿勢をみせている。

婦人服地は、取り扱いブランドによりばらつきがみられるものの、総体では受注・生産が横ばい圏で推移している。高価格帯の製品向けが堅調な一方、中価格帯の製品向けは、アパレルメーカーからの発注が前年を下回っている。

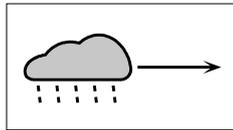
なお、高齢化などを理由に廃業する事業者が増加しており、工程によっては新たな外注先として県外事業者に頼る必要が出てきている。このようななか、工賃や運送費などの上昇による採算悪化を危惧する声が聞かれる。

### 織物工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



## ■ 宝飾



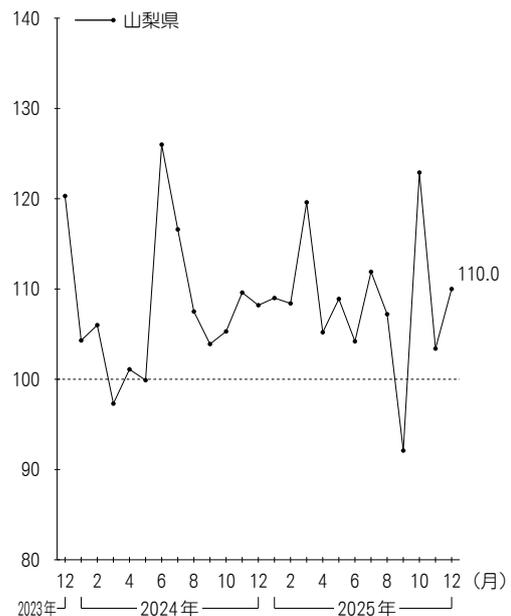
### ライトジュエリーの需要が拡大

受注・生産は、横ばい圏で推移している。国内向けは、原材料価格上昇に伴う全体的な小売価格の上昇を受け、比較的安価なライトジュエリーの受注が増加。また、18金など高価格帯の製品も資産性の高さから堅調に推移。一方、ボリュームゾーンである中価格帯の製品は鈍い動きとなっている。海外向けは、これまでメイン先であった中国向けが低調に推移している。このようななか、新たな海外市場を開拓する動きが活発化しており、バンコクなどの展示会へ出展する事業者が増加している。

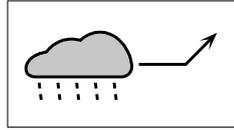
素材別にみると、低価格帯製品の需要拡大を受けて、銀の取り扱いが拡大している。

### 貴金属製品工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



**電気機械  
情報通信機械  
電子部品・デバイス**



**電源装置の受注・生産は総じて堅調**

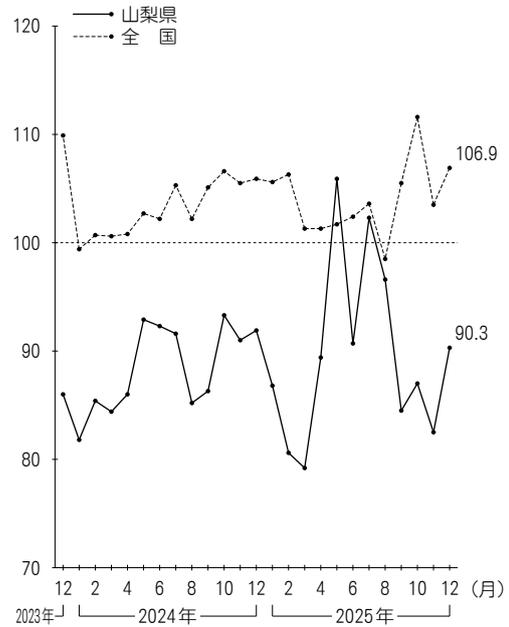
コンピュータ数値制御装置は、海外での工作機械需要回復を背景に、受注・生産が堅調に推移している。

水晶振動子は、受注・生産が底堅く推移している。車載向けやヘルスケア向けが堅調を維持している一方、スマートフォン向けは弱い動きとなっている。

電源装置の受注・生産は、総じて堅調に推移している。公共インフラ向けや産業機器向けが底堅く推移している。また、データセンター向けは、生成 AI の需要拡大に伴い増加傾向で推移しており、先行きも当面高水準を維持する見通しにある。

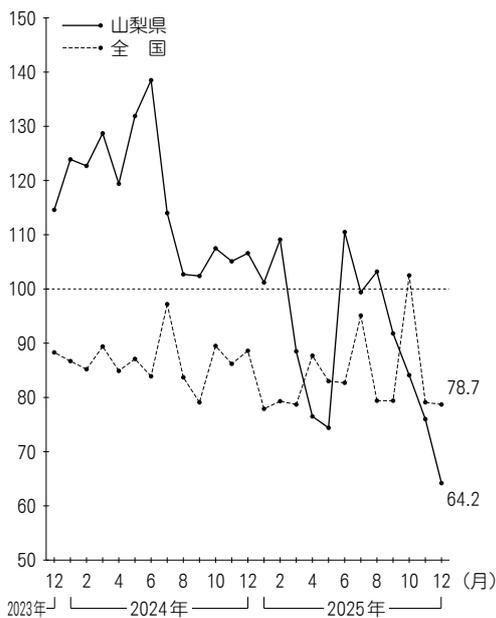
**電気機械工業生産指数推移**

(2020年=100、季節調整済)



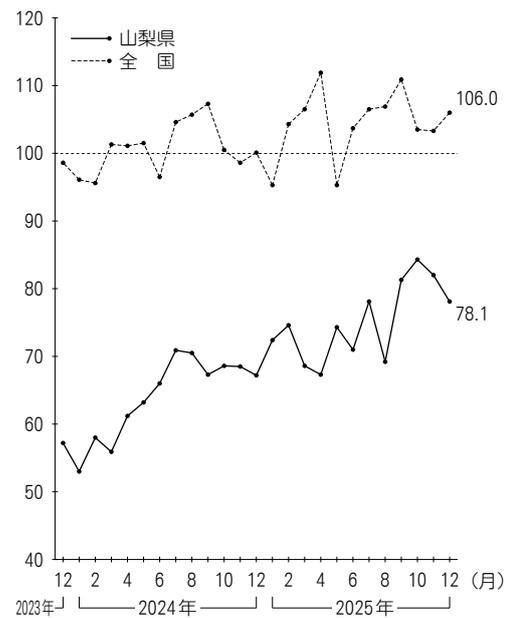
**情報通信機械工業生産指数推移**

(2020年=100、季節調整済)

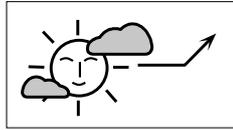


**電子部品・デバイス工業生産指数推移**

(2020年=100、季節調整済)



## 生産用機械



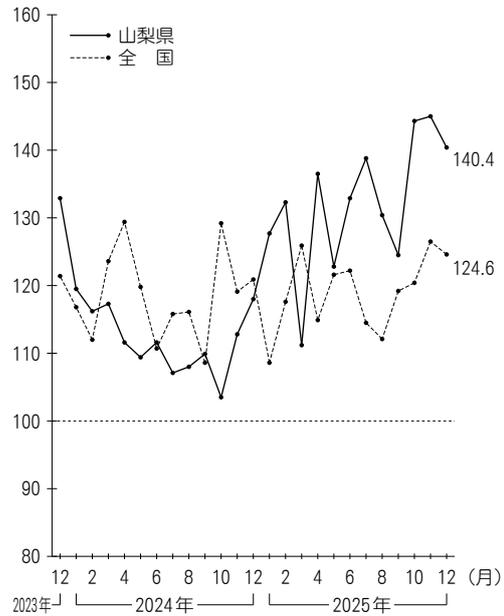
### 半導体製造装置の受注・生産は増加傾向

半導体製造装置は、受注・生産が増加傾向で推移している。取扱製品などによるばらつきはみられるものの、一部では急激な増産要請への対応に苦慮する先も。先行きについて、当面は堅調な推移が見込まれるが、本格的な回復に向かうのか、昨年同様一過性のものにとどまるのか、見方は分かれている。

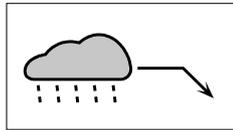
工作機械及び関連部品は、受注・生産が全体としては底堅く推移している。堅調な受注を確保する先がある一方で、中国のEV（電気自動車）向けでは増勢鈍化も窺われる。先行きについて、国内外での設備投資需要回復に伴い、春先以降は上向いていくとの声が聞かれる。

### 生産用機械工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



## 輸送機械



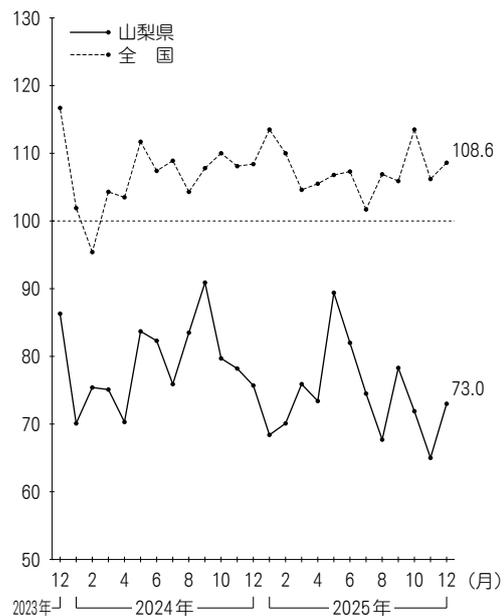
### 自動車部品の受注・生産は力強さを欠く

12月の全国の四輪車生産台数は、前年同月比1.9%増と4か月ぶりに前年を上回った。車種別で見ると、乗用車が0.3%減、トラックが15.6%増、バスが35.8%増となった。なお、二輪車生産台数は7.1%減となり、4か月連続で前年を下回った。

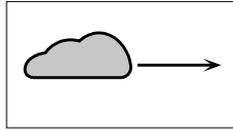
自動車部品の受注・生産は、納入先や取扱車種などによるばらつきはみられるが、全体としては力強さを欠いている。関税の合意以降、北米向けの受注に回復傾向が窺われる一方、中国向けは停滞している。EV（電気自動車）需要の落ち込みや、生産の内製化が進展していることなどが背景にある。

### 輸送機械工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



## 汎用・業務用機械



### 運搬機械は受注・生産が前年を上回る

カメラ部品の受注・生産は、人気が復調しているコンパクトデジタルカメラ向けが緩やかながら増加傾向にある。

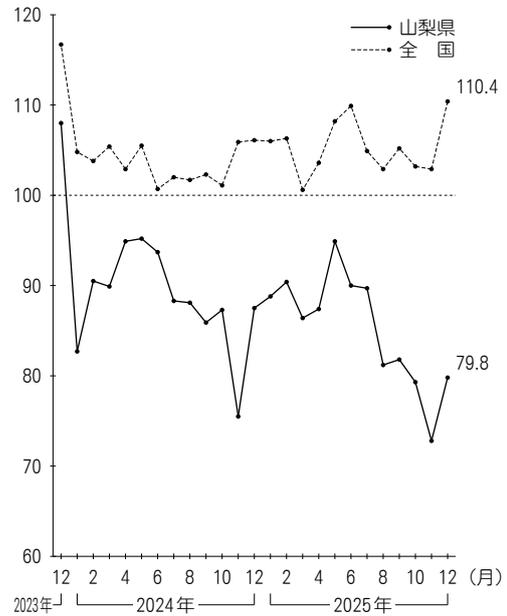
運搬機械は、受注・生産が前年を上回る水準で推移している。設備投資需要の高まりを受け海外向けが堅調なほか、公共インフラが更新時期を迎えるなかで国内向けも伸長している。

プリンタ用部品は、ペーパーレス化の進展を背景にオフィス向けの受注・生産が弱含んでいるが、一部高級機種向けに堅調な先もみられる。

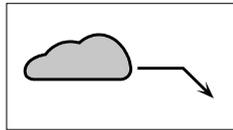
医療機器は、受注・生産が安定的に推移している。景気動向に左右されない分野であり、取扱品目の拡大に注力する動きがみられる。

### 汎用・業務用機械工業生産指数推移

(2020年=100、季節調整済)



## 建設



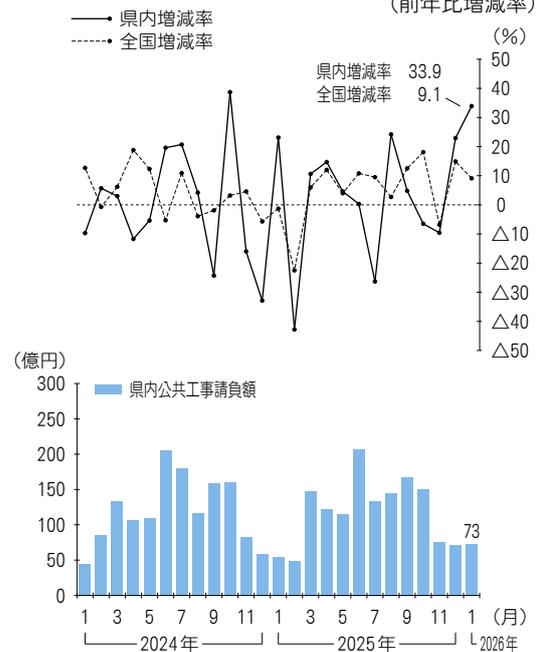
### ICT(情報通信技術)を導入する動きが加速

1月の公共工事保証請負額(東日本建設業保証(株))は72億65百万円、前年同月比33.9%増と、2か月連続の増加。発注者別では、県(前年同月比31.7%増)、市町村(同118.5%増)が増加した一方、国(同69.2%減)は減少した。2025年度の累計(2025年4月~2026年1月)は1,255億21百万円で、前年度を1.9%上回っている。

民間工事は、工場や宿泊施設など一部で動きがみられるが、全体として、企業の設備投資に対する慎重姿勢は崩れていないため、低調な状況が続いている。なお、業界では、人手不足への対応や作業効率の向上を図るため、ICT(情報通信技術)を導入する動きが加速している。

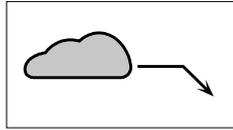
### 公共工事保証請負額推移

(前年比増減率)



「東日本建設業保証(株)」

## ■ 商業

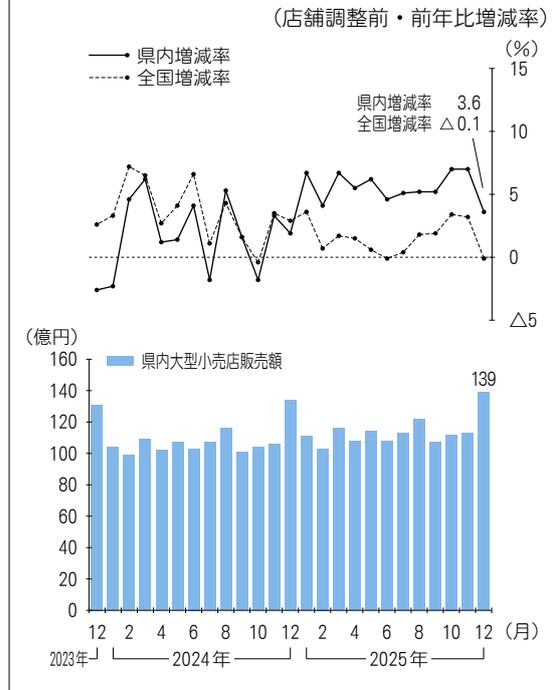


### 節約志向の定着で盛り上がりを欠く

1月～2月の商況をみると、気温の低下が進み冬物衣料が堅調だったほか、家電品にも動意がみられたが、節約志向が定着するなかで、総体では盛り上がりを欠いている。

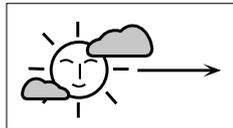
品目別にみると、衣料品は、気温の低下に伴いアウターなどの重衣料や防寒インナーの需要が拡大するなか、クリアランスセール期間が重なり、買上点数が伸長。食料品は、割安感やボリューム感のある商品に対する購買意欲は強いが、来店時の「ついで買い」は少なく、全体では低調な状況。家電品は、パソコンが堅調なほか、エアコンなどの暖房機器も上向き。乗用車販売は、価格高に伴う買い控えなどから弱含み。

### 大型小売店販売額推移



「経済産業省」

## ■ 観光

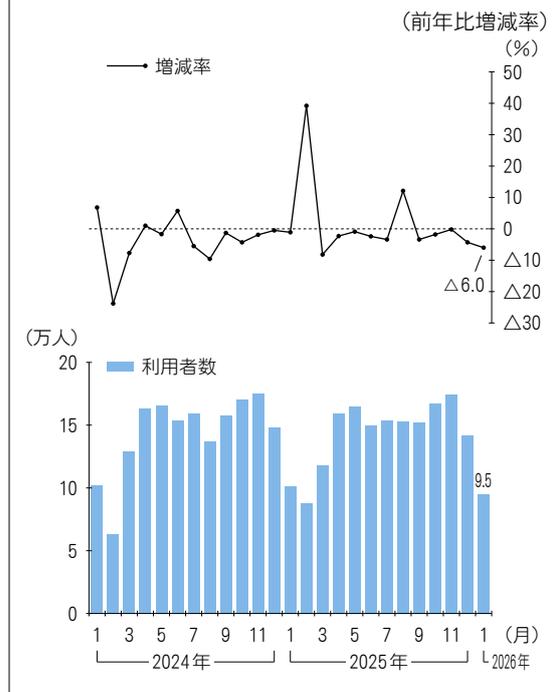


### 年始に満室となった宿泊施設も

1月の県内観光は、前年を上回る入込みとなった。中旬以降は地域によってばらつきがみられたが、年始に満室となった宿泊施設が多く、総体での入込みは順調であった。

地域別にみると、湯村温泉は、宿泊客は減少したが、日帰り客が増加し、総体では前年超え。下部温泉は、団体客が低調な一方、個人客は堅調。石和温泉は、国内の団体客が上向いているが、外国人観光客の減少で、全体の入込みは盛り上がりを欠く。富士北麓は、中国政府による訪日自粛要請などにより中国からの団体客が減少したが、国内客や欧米などからの観光客は増加傾向で、前年を上回る入込み。

### 県内ゴルフ場利用者数推移



「県税務課」

## 県内経済トピックス

(2月を中心として)

### ■ 山梨県、2年ぶりに転出超過に転じる

総務省は、3日、住民基本台帳に基づく2025年の人口移動報告を公表した。

これによると、山梨県は転入者数が15,076人(前年比3.7%減)、転出者数は15,938人(同2.4%増)となり、862人の転出超過に転じた。一方、転入超過であったのは、埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪、福岡、滋賀の7都府県であった。なお、外国人については、転入者数が2,587人(同6.1%減)、転出者数は2,482人(同14.0%増)で105人の転入超過となっている。

### ■ 2025年の消費者物価指数は3.3%上昇

山梨県は、12日、2025年の甲府市消費者物価指数を公表した。

これによると、総合指数は111.4となり、前年と比べ3.3%上昇した。上昇した項目では「食料」が前年比+6.6%と最も高く、次いで「光熱・水道」が同+4.3%、「被服及び履物」が同+2.7%の順となった。価格変動の大きい生鮮食品を除いた指数も110.6となり、前年比3.1%の上昇となった。なお、全国の総合指数は111.9となり、前年と比べ3.2%上昇している。

### ■ ぶどうの収穫量が全国1位

農林水産省は、17日、全国の2025年産ぶどうの収穫量を公表した。

これによると、山梨県産ぶどうの収穫量における全国シェアは26%で1位を維持している。ただし、収穫量は41,500トンと前年を2,100トン下回り、栽培面積も10ヘクタール減少し、4,030ヘクタールとなった。

なお、全国の収穫量は160,300トンと前年と比べ4,300トンの減少、栽培面積も17,300ヘクタールと同200ヘクタールの減少となった。

### ■ 移住希望地ランキングは11位に低下

ふるさと回帰・移住交流推進機構は、20日、2025年に同機構が運営する「ふるさと回帰支援センター・東京」の窓口を訪れた相談者を対象とした移住希望地ランキングを発表した。

これによると、1位は群馬県、2位は栃木県、3位は長野県となっており、山梨県は前年から3ランクダウンの11位となった。

なお、同センターへの年間相談件数は、前年から18.3%増の73,003件で5年連続過去最多を更新しており、移住への関心が高まっている。

### ■ 出生数・婚姻数ともに減少

厚生労働省は、26日、2025年の人口動態統計速報を公表した。

これによると、山梨県の出生数は4,225人で、前年の4,394人から169人の減少となり、少子化に歯止めがかからない状況となっている。また、婚姻数も前年の2,825件から24件減少し、2,801件となった。

なお、全国の出生数は前年に比べ15,179人少ない705,809人で、婚姻数は5,657件増加の505,656件となった。

### ■ 2025年の延べ宿泊者数が過去最多を更新

山梨県は、27日、2025年の宿泊旅行統計調査結果(速報値)を公表した。

これによると、2025年に県内に宿泊した延べ宿泊者数は968万5千人で、前年を20万1千人(2.1%)上回り、現在の手法で統計を取り始めた2011年以降で最多となった。

内訳をみると、日本人が7万5千人(前年比1.1%)増の700万4千人、外国人も12万6千人(同4.9%)増の268万1千人となり、外国人宿泊者数は過去最多となった。

## 山梨県の主要経済指標①

摘要	県人口 (注1)		県税収入済額 (注2)		鉱工業生産指数		鉱工業出荷指数		鉱工業在庫指数 (注3)		景気動向指数 (CI) (注4)			消費者物価指数 (甲府市)	
	人口	前年比	金額	前年比	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比	先行指数	一致指数	運行指数	指数	前年比
	人	%	億円	%	2020年=100	%	2020年=100	%	2020年=100	%	2020年=100			2020年=100	%
2023年	795,544	△ 0.8	1,007	△ 0.9	109.1	△ 10.8	107.5	△ 12.0	174.4	23.0	132.4	112.6	145.8	105.0	3.4
2024年	790,215	△ 0.7	1,073	6.6	100.2	△ 8.2	101.8	△ 5.3	124.9	△ 28.4	143.2	123.7	154.3	107.8	2.7
2025年	783,870	△ 0.8												111.4	3.3
2025.1	788,935	△ 0.7	91	12.2	102.6	6.8	104.5	3.0	129.7	△ 17.8	143.3	128.6	160.5	110.9	4.4
2	787,592	△ 0.7	47	19.8	105.7	△ 0.7	108.1	0.7	117.1	△ 25.0	144.0	125.3	166.3	110.4	3.7
3	786,814	△ 0.7	72	21.9	95.3	△ 4.7	101.2	△ 2.8	117.1	△ 20.8	138.8	129.6	163.7	110.8	4.0
4	784,497	△ 0.7	64	△ 1.3	106.2	6.3	106.6	5.3	126.6	△ 8.1	142.2	132.3	158.8	110.9	3.6
5	785,309	△ 0.8	96	△ 14.0	108.1	1.8	107.5	1.9	126.5	5.7	144.9	135.8	168.7	111.1	3.6
6	784,942	△ 0.8	208	11.3	104.4	3.6	110.7	10.4	130.8	8.3	143.1	130.4	164.2	111.1	3.0
7	784,639	△ 0.8	101	10.9	107.8	7.9	109.3	11.5	122.7	2.9	143.8	130.1	167.3	111.3	3.1
8	784,431	△ 0.8	69	42.5	103.5	5.2	108.3	6.3	124.0	7.7	144.7	127.9	162.4	111.6	3.1
9	784,175	△ 0.8	63	0.4	99.3	1.9	104.3	7.0	123.2	△ 0.2	142.6	128.2	161.8	111.4	3.2
10	783,870	△ 0.8	73	4.2	108.3	10.5	112.0	11.1	115.7	△ 6.3	154.1	136.6	163.8	112.4	3.0
11	783,797	△ 0.8	82	△ 6.0	104.2	4.7	107.0	2.7	120.9	0.6	144.9	134.7	156.6	112.4	2.8
12	783,149	△ 0.8	141	24.5	102.7	1.1	104.5	2.8	119.8	△ 2.8				112.1	2.1
2026.1	782,503	△ 0.8	96	5.2											
出所	県統計調査課		県税務課		県統計調査課						県統計調査課			県統計調査課	

## 全国の主要経済指標①

摘要	人口 (注1)		租税収入 (注2)		鉱工業生産指数		鉱工業出荷指数		鉱工業在庫指数 (注3)		景気動向指数 (CI) (注4)			消費者物価指数	
	人口	前年比	金額	前年比	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比	先行指数	一致指数	運行指数	指数	前年比
	千人	%	億円	%	2020年=100	%	2020年=100	%	2020年=100	%	2020年=100			2020年=100	%
2023年	124,352	△ 0.5	720,761	1.3	103.9	△ 1.3	103.2	△ 0.7	100.7	△ 0.5	110.8	115.9	108.3	105.6	3.2
2024年	123,802	△ 0.4	752,321	4.4	101.2	△ 2.6	99.9	△ 3.2	98.8	△ 1.9	108.0	116.3	110.0	108.5	2.7
2025年	123,210	△ 0.5									111.0	114.3	110.3	111.9	3.2
2025.1	123,552	△ 0.5	79,049	17.4	99.9	2.2	98.5	2.1	102.6	0.6	108.1	116.3	111.6	111.2	4.0
2	123,441	△ 0.5	66,017	4.6	102.2	0.1	101.5	1.5	100.9	△ 1.4	107.7	117.0	111.4	110.8	3.7
3	123,420	△ 0.5	42,059	15.8	102.4	1.0	99.7	△ 0.3	102.1	△ 0.7	107.5	115.8	111.4	111.1	3.6
4	123,397	△ 0.5	66,199	12.7	101.3	0.5	99.8	0.1	101.3	△ 1.1	104.5	115.7	113.0	111.5	3.6
5	123,342	△ 0.5	136,271	△ 0.1	101.2	△ 2.4	102.2	△ 2.3	99.5	△ 3.1	104.6	115.5	114.0	111.8	3.5
6	123,371	△ 0.5	25,252	△ 7.3	103.3	4.4	101.4	3.8	99.2	△ 3.1	105.3	115.9	113.2	111.7	3.3
7	123,367	△ 0.5	67,773	67.7	102.1	△ 0.4	99.3	△ 1.7	100.1	△ 2.4	106.1	114.3	113.5	111.9	3.1
8	123,268	△ 0.5	74,722	28.6	100.6	△ 1.6	99.5	△ 1.3	99.1	△ 2.9	106.8	113.2	112.2	112.1	2.7
9	123,192	△ 0.5	42,863	0.6	103.2	3.8	100.6	2.5	99.9	△ 2.4	108.0	114.9	112.3	112.0	2.9
10	p123,210	△ 0.5	52,323	6.3	104.7	1.6	102.3	1.1	100.3	△ 1.9	109.7	115.9	112.2	112.8	3.0
11	p123,190	△ 0.5	114,130	9.4	101.9	△ 2.2	100.6	△ 1.8	97.3	△ 4.1	109.9	114.9	112.5	113.2	2.9
12	p123,160	△ 0.5	44,106	4.6	101.8	2.6	99.0	1.3	98.2	△ 2.8	111.0	114.3	110.3	113.0	2.1
2026.1	p122,950	△ 0.5			p104.0	2.3	p102.2	2.0	p98.3	△ 4.2				112.9	1.5
出所	総務省		財務省		経済産業省						内閣府			総務省	

(注1) 年数値は10月1日現在 (注2) 年数値は年度計 (注3) 年数値は年平均 (注4) 年数値は12月現在 (注5) pは速報値

## 山梨県の主要経済指標 ②

摘要	大型小売店販売額 (店論調整前)		コンビニエンスストア 販売額		家電大型専門店 販売額		ドラッグストア 販売額		ホームセンター 販売額		新車登録台数(除軽自)				軽自動車 販売台数	
	金額		金額		金額		金額		金額		合計		乗用車			
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比
年月	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	台	%	台	%	台	%
2023年	1,269	△0.6	980	4.8	216	△3.8	612	5.3	328	△0.5	20,704	17.1	17,807	19.5	14,588	1.6
2024年	1,293	1.9	999	1.9	220	1.6	653	6.6	340	3.8	19,366	△6.5	16,951	△4.8	13,888	△4.8
2025年			1,025	2.5	224	1.8	673	3.1	340	0.1	20,030	3.4	17,317	2.2	14,778	6.4
2025.1	111	6.7	80	4.4	20	0.8	52	2.8	25	1.7	1,692	17.9	1,482	17.6	1,178	20.6
2	103	4.1	74	0.7	16	△4.0	50	△1.3	24	4.3	1,768	14.8	1,582	18.6	1,210	21.9
3	116	6.7	84	3.4	22	4.5	55	6.0	28	1.7	2,314	12.8	2,039	11.6	1,570	17.2
4	108	5.5	83	2.4	16	0.4	55	2.7	31	0.1	1,524	1.9	1,337	△0.4	1,165	25.9
5	114	6.2	86	2.4	16	6.0	55	3.8	31	0.5	1,436	7.6	1,238	5.3	1,128	14.6
6	108	4.6	86	4.3	19	9.8	57	4.8	28	3.5	1,776	16.5	1,509	14.3	1,349	12.7
7	113	5.1	92	2.3	20	△9.3	59	3.0	30	1.2	1,745	0.8	1,548	2.9	1,218	△7.7
8	122	5.2	95	3.4	19	△4.7	59	△0.2	29	△3.8	1,216	△14.0	1,034	△14.5	989	△5.5
9	107	5.2	85	1.7	17	1.8	55	3.8	25	△1.1	1,859	0.9	1,574	△2.5	1,453	1.0
10	112	7.0	86	1.1	17	12.9	55	3.3	27	0.8	1,680	△6.2	1,430	△9.3	1,277	△2.5
11	113	7.0	85	3.7	19	9.7	58	7.1	28	0.4	1,640	△4.2	1,403	△6.8	1,175	△5.1
12	139	3.6	88	0.6	23	0.0	62	1.7	35	△4.9	1,380	△7.7	1,141	△11.0	1,066	△4.8
2026.1	p112	0.9	p81	0.5	p22	6.0	p54	3.6	p25	0.3	1,592	△5.9	1,347	△9.1	1,163	△1.3
出所	経済産業省									山梨県自動車販売店協会				県軽自動車協会		

## 全国の主要経済指標 ②

摘要	大型小売店販売額 (店論調整前)		コンビニエンスストア 販売額		家電大型専門店 販売額		ドラッグストア 販売額		ホームセンター 販売額		新車登録台数(除軽自)				軽自動車 販売台数	
	金額		金額		金額		金額		金額		合計		乗用車			
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	千台	%	千台	%	千台	%
年月	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	千台	%	千台	%	千台	%
2023年	216,049	4.2	127,321	4.4	46,324	△1.1	83,438	8.2	33,411	0.0	3,057	18.2	2,647	19.3	1,745	6.5
2024年	223,812	3.4	128,887	1.2	47,288	2.1	89,199	6.9	33,988	1.7	2,886	△5.6	2,518	△4.9	1,558	△10.7
2025年	230,210	1.5	133,212	3.4	49,214	4.1	94,141	5.5	33,917	△0.2	2,921	1.2	2,528	0.4	1,667	7.0
2025.1	19,159	3.6	10,496	4.1	4,138	5.0	7,396	6.3	2,458	0.6	240	10.1	216	12.2	137	16.4
2	17,306	0.7	9,802	0.3	3,616	5.6	7,047	3.4	2,286	0.3	264	15.7	234	15.7	147	24.2
3	19,350	1.7	11,041	4.1	4,802	5.3	7,866	7.6	2,773	0.9	332	8.7	288	7.2	170	14.6
4	18,025	1.5	10,779	3.4	3,577	1.1	7,628	6.7	3,008	△0.5	219	4.5	191	5.3	126	22.4
5	18,495	0.6	11,223	4.2	3,697	4.7	7,792	6.5	3,089	0.6	205	0.9	178	0.7	121	8.8
6	18,821	△0.1	11,211	5.1	4,261	5.6	7,981	6.5	2,955	2.3	249	2.5	217	3.0	146	10.3
7	19,259	0.4	11,900	3.6	4,320	△4.8	8,241	5.7	3,006	1.0	254	△4.2	220	△4.1	138	△2.6
8	19,277	1.8	11,845	3.3	4,099	5.4	8,094	3.4	2,880	△3.5	188	△10.6	160	△11.5	115	△4.3
9	17,993	1.9	11,000	3.0	3,975	5.4	7,630	4.7	2,546	△2.3	268	△3.2	229	△4.7	163	△0.9
10	18,815	3.4	11,318	2.6	3,679	11.0	7,856	5.9	2,716	0.2	250	△4.3	214	△7.6	147	2.9
11	19,903	3.2	10,941	3.9	4,122	7.6	7,955	7.9	2,862	1.0	237	△6.1	201	△9.2	135	△3.4
12	23,809	△0.1	11,656	2.5	4,927	0.4	8,654	2.3	3,338	△2.6	214	0.6	181	△1.7	124	3.8
2026.1	p19,739	2.6	p10,684	1.8	p4,534	9.6	p7,693	4.0	p2,496	1.6	230	△4.2	200	△7.7	139	1.1
出所	経済産業省									日本自動車販売協会連合会				全国軽自動車協会連合会		

(注1) pは速報値

### 山梨県の主要経済指標 ③

摘要	家計(勤労者世帯)(注1)				現金給与総額(規模30人以上)		所定外労働時間(規模30人以上)(製造業)		推計常用労働者(規模30人以上)		新規求職者数(注2)		新規求人数(注2)		求人倍率(注2)		雇用保険受給者実人員(注2)	
	消費支出金額		同実質指数		金額	指数	時間	指数	人数	指数	人数	前年比	人数	前年比	新規	有効	人数	前年比
	金額	前年比	指数	前年比														
	年月	円	%	%	%	円	%	時間	%	人	%	人	%	人	%	倍	人	%
2023年	341,150	5.9	106.1	2.4	344,836	1.1	16.3	△15.3	149,021	△3.7	34,359	△1.5	72,238	△6.6	2.10	1.26	30,977	13.4
2024年	339,741	△0.4	103.0	△3.0	335,613	0.5	13.3	△14.3	159,482	3.8	31,996	△6.9	70,378	△2.6	2.20	1.28	28,196	△9.0
2025年	319,035	△6.1	93.6	△9.1														
2025.1	290,752	△16.0	85.7	△19.5	273,545	△0.8	13.8	13.1	157,544	5.4	3,434	△3.4	6,993	△3.4	2.17	1.26	2,222	4.8
2	356,538	21.0	105.5	16.7	267,044	△2.7	14.1	13.7	159,219	2.3	2,771	△6.8	5,840	△2.3	2.25	1.26	2,052	△2.7
3	425,322	35.7	125.4	30.4	293,275	0.2	14.9	7.2	159,709	0.3	2,622	△5.3	5,661	△7.6	2.25	1.31	2,000	△7.2
4	257,562	△19.9	75.9	△22.6	273,437	△2.9	15.3	7.7	162,136	0.4	3,440	△3.3	6,088	△2.2	2.24	1.32	2,040	△5.5
5	269,451	△45.5	79.2	△47.4	290,896	3.0	14.2	18.4	162,025	1.6	2,739	△5.1	6,124	5.0	2.33	1.32	2,333	△2.8
6	417,464	51.3	122.8	47.0	441,694	1.7	14.2	8.4	161,865	2.0	2,342	0.0	5,324	△9.8	2.06	1.30	2,517	5.6
7	362,920	25.6	106.5	21.8	407,614	△6.1	13.7	3.8	160,569	0.0	2,471	△7.1	5,521	△7.4	2.10	1.28	2,917	7.3
8	291,630	△3.2	85.4	△6.0	286,518	△1.2	12.8	△3.7	162,135	△0.3	2,156	△5.0	5,101	△1.6	2.27	1.27	2,883	8.1
9	269,662	△21.5	79.1	△24.0	280,296	1.8	13.8	3.0	161,475	0.0	2,535	3.9	5,684	△0.6	2.16	1.32	2,954	14.4
10	276,672	△19.9	80.4	△22.4	275,332	1.4	15.2	17.8	159,732	△0.4	2,745	△1.6	6,161	△6.0	2.18	1.31	2,887	16.7
11	269,021	△20.1	78.2	△22.3	293,797	3.0	15.4	8.4	159,703	△1.8	2,059	△6.7	5,085	△1.3	2.24	1.33	2,627	13.5
12	341,421	△17.7	99.5	△19.4	p604,175	△3.0	p15.5	4.7	p159,945	△1.4	2,144	6.1	5,334	△0.4	1.97	1.32	2,548	14.7
2026.1											3,352	△2.4	6,866	△1.8	2.15	1.32		
出所	総務省				県統計調査課						山梨労働局							

### 全国の主要経済指標 ③

摘要	家計(勤労者世帯)				現金給与総額(規模30人以上)		所定外労働時間(規模30人以上)(製造業)		推計常用労働者(規模30人以上)		新規求職者数(注2)		新規求人数(注2)		求人倍率(注2)		完全失業者	
	消費支出金額		平均消費性向		金額	指数	時間	指数	人数	指数	人数	前年比	人数	前年比	新規	有効	失業数	失業率
	金額	前年比	平均消費性向	前年比														
	年月	円	%	%	ポイント	円	%	時間	%	千人	%	千人	%	千人	%	倍	万人	%
2023年	318,755	△0.6	35.6	△0.4	386,982	1.9	15.2	△0.5	29,547	0.8	4,505	△1.7	10,275	△2.4	2.28	1.29	178	2.6
2024年	325,137	2.0	37.8	2.2	397,789	2.8	14.6	△3.9	31,027	5.0	4,409	△2.1	9,952	△3.1	2.26	1.25	176	2.5
2025年	346,297	6.5	35.0	△2.8	408,035	2.6	14.8	1.4	31,317	0.9							176	2.5
2025.1	331,341	5.8	78.9	2.2	332,594	2.7	14.0	2.9	31,086	4.9	397	△2.5	907	△0.4	2.30	1.25	163	2.5
2	313,977	2.0	66.2	0.1	323,728	3.3	15.0	2.7	31,024	1.0	361	△7.9	840	△5.9	2.31	1.25	165	2.4
3	382,959	8.2	89.9	5.6	347,260	2.1	15.1	1.3	30,825	0.9	378	△1.2	807	△3.0	2.27	1.25	180	2.5
4	363,182	5.3	76.4	0.2	338,252	2.3	15.1	3.4	31,362	1.0	514	△1.1	840	2.2	2.26	1.25	188	2.5
5	351,466	10.3	87.6	2.9	337,884	1.2	13.9	2.2	31,471	1.1	392	△4.5	786	△5.2	2.18	1.23	183	2.5
6	323,202	7.7	41.6	4.7	625,297	3.8	14.5	1.4	31,495	1.0	349	3.6	772	△2.5	2.18	1.22	176	2.5
7	338,900	8.4	60.5	5.5	476,302	3.6	15.1	1.3	31,492	0.9	359	0.3	833	△1.2	2.18	1.22	169	2.3
8	347,325	9.0	68.6	2.5	332,555	1.7	14.0	0.0	31,408	0.9	322	1.4	744	△6.2	2.15	1.21	182	2.6
9	339,762	10.2	82.1	5.5	335,091	2.6	14.7	△0.7	31,368	0.9	353	0.9	781	△3.2	2.13	1.20	184	2.6
10	338,977	3.5	67.9	0.3	337,567	2.8	15.6	0.6	31,383	0.8	373	△1.1	860	△6.4	2.12	1.19	183	2.6
11	350,349	10.7	82.3	7.4	351,701	2.0	15.8	1.3	31,427	0.8	293	△6.3	719	△10.4	2.14	1.19	171	2.6
12	374,127	△1.3	37.0	△1.9	759,081	2.4	15.4	2.0	31,444	0.8	299	3.1	772	△2.4	2.14	1.20	166	2.6
2026.1											408	2.7	866	△4.6	2.11	1.18	179	2.7
出所	総務省				厚生労働省												総務省	

(注1) 調査世帯数などの影響から前年比が大きく変動する場合があります。(注2) 年数値は年度計または年度平均(注3) pは速報値

## 山梨県の主要経済指標 ④

摘要	新設住宅着工戸数						着工建築物床面積 (除く居住専用)		公共工事 保証請負額 (注1)		企業倒産				金融機関勘定 (注2)			
	合計		持家		貸家		面積	前年比	金額	前年比	件数	前年比	負債総額	前年比	預金		貸出	
	戸数	前年比	戸数	前年比	戸数	前年比									金額	前年比	金額	前年比
	年月	戸	%	戸	%	戸	%	m <sup>2</sup>	%	億円	%	件	%	百万円	%	億円	%	億円
2023年	3,969	△15.0	2,448	△13.3	1,032	△16.8	275,999	△4.7	1,442	4.4	23	△4.2	3,279	△39.9	52,908	1.3	21,986	4.6
2024年	3,964	△0.1	2,557	4.5	868	△15.9	316,921	14.8	1,428	△1.0	45	95.7	9,453	188.3	53,278	0.7	22,621	2.9
2025年	3,872	△2.3	2,388	△6.6	1,022	17.7	202,899	△36.0			40	△11.1	6,948	△26.5	53,669	0.7	23,542	4.1
2025.1	226	△11.7	146	2.8	51	△51.4	21,394	23.7	54	23.1	4	0.0	1,083	141.2	52,809	0.6	22,676	3.6
2	241	△2.4	138	△23.8	77	140.6	11,686	△44.5	49	△42.8	2	△60.0	297	△68.0	52,591	0.5	22,719	3.6
3	384	△0.5	253	9.5	98	8.9	10,945	△60.8	147	10.6	1	△50.0	880	627.3	52,869	0.1	23,194	3.2
4	347	17.2	214	21.6	93	9.4	41,725	9.1	122	14.7	1	△83.3	66	△94.3	53,001	0.2	22,976	4.1
5	235	△48.9	147	△40.0	74	10.4	17,892	△62.4	115	4.6	3	200.0	111	146.7	53,520	1.2	23,227	4.7
6	292	△18.2	198	△13.5	44	△24.1	14,924	△55.2	207	0.3	4	100.0	344	106.0	54,115	0.3	23,249	4.5
7	309	△12.0	198	△10.0	78	△20.4	21,010	43.3	133	△26.3	3	△40.0	812	△62.5	53,517	0.7	23,223	3.9
8	327	9.4	208	△9.2	97	142.5	8,231	△83.0	144	24.2	3	200.0	321	817.1	53,786	0.9	23,302	4.0
9	336	△13.4	207	△15.5	99	△20.8	7,876	△67.6	167	4.8	5	△28.6	1,353	13.7	53,275	0.8	23,369	4.3
10	512	64.6	250	16.3	155	176.8	19,181	29.2	150	△6.5	4	100.0	942	467.5	53,184	0.9	23,419	4.3
11	380	9.2	220	△12.0	127	71.6	16,456	△29.4	75	△9.6	6	500.0	408	308.0	53,657	1.2	23,386	4.6
12	283	6.8	209	7.7	29	△23.7	11,579	95.0	71	22.9	4	△55.6	331	△88.7	53,669	0.7	23,542	4.1
2026.1	254	12.4	125	△14.4	100	96.1	12,155	△43.2	73	33.9	3	△25.0	246	△77.3				
出所	国土交通省						東日本建設業保証		東京商工リサーチ				日本銀行					

## 全国の主要経済指標 ④

摘要	新設住宅着工戸数						着工建築物床面積 (除く居住専用)		公共工事 保証請負額 (注1)		企業倒産				金融機関勘定 (注2)			
	合計		持家		貸家		面積	前年比	金額	前年比	件数	前年比	負債総額	前年比	預金		貸出	
	戸数	前年比	戸数	前年比	戸数	前年比									金額	前年比	金額	前年比
	年月	百戸	%	百戸	%	百戸	%	千m <sup>2</sup>	%	億円	%	件	%	億円	%	百億円	%	百億円
2023年	8,196	△4.6	2,244	△11.4	3,439	△0.3	48,103	△6.5	147,405	△1.1	8,690	35.2	24,026	3.1	96,535	3.6	58,795	4.0
2024年	7,921	△3.4	2,181	△2.8	3,420	△0.6	42,655	△11.3	152,054	△2.1	10,006	15.1	23,435	△2.5	98,695	2.2	61,247	4.2
2025年	7,407	△6.5	2,013	△7.7	3,250	△5.0	39,451	△7.5			10,300	2.9	15,922	△32.1	100,551	1.9	64,522	5.3
2025.1	561	△4.6	135	△8.6	244	△1.2	2,929	△19.0	5,662	△1.3	840	19.8	1,214	53.5	99,017	2.1	61,411	4.3
2	606	2.4	163	△0.2	257	3.2	3,403	3.1	6,914	△22.5	764	7.3	1,713	22.7	98,832	1.6	61,398	4.0
3	894	39.1	229	37.4	425	50.6	3,910	14.2	17,220	6.0	853	△5.8	986	△30.7	99,966	1.2	61,620	3.4
4	562	△26.6	136	△23.7	249	△27.9	4,317	△4.7	27,254	12.0	828	5.7	1,028	△9.4	100,192	0.9	61,498	3.1
5	432	△34.4	119	△30.9	189	△30.5	3,674	7.3	16,541	4.0	857	△15.1	904	△33.9	100,610	1.6	61,690	3.3
6	560	△15.6	160	△16.4	243	△14.0	3,113	△15.5	19,055	10.8	848	3.4	1,057	△3.8	100,344	1.6	62,333	3.8
7	614	△9.7	177	△11.1	274	△13.1	2,868	△18.7	16,765	9.5	961	0.8	1,670	△78.6	100,139	1.4	62,498	4.0
8	603	△9.8	175	△10.6	266	△8.1	2,791	△12.8	10,996	2.7	805	11.3	1,144	12.8	100,458	1.9	62,713	4.6
9	636	△7.3	183	△5.6	285	△8.2	3,606	△3.6	14,348	12.5	873	8.2	1,125	△15.3	100,131	2.2	63,020	5.1
10	719	3.2	181	△8.2	308	4.2	3,409	△9.5	13,327	18.1	965	6.2	1,275	△49.6	100,318	2.2	63,269	5.3
11	595	△8.5	179	△9.5	253	△5.5	2,498	△24.6	7,452	△6.8	778	△7.5	824	△48.6	101,392	2.6	63,764	5.2
12	621	△1.3	175	△1.8	255	△3.4	2,923	△6.3	7,799	14.9	928	10.2	2,982	53.7	100,551	1.9	64,522	5.3
2026.1	559	△0.4	144	6.6	240	△1.5	2,799	△4.4	6,180	9.1	887	5.6	1,198	△1.3				
出所	国土交通省						東日本・西日本・北海道建設業保証		東京商工リサーチ				日本銀行					

(注1) 年数値は年度計 (注2) 年数値は年末残高

## 駐在員レポート

### 中国・上海の街並み

先日、中国国内の取引先訪問のため、上海に出張しました。限られた時間ではありましたが、現在出向している香港や日本との違いを認識しました。今回は中国への入国について、そして上海の様子についてお伝えします。

現在、日本から中国への入国に際しては、滞在日数 30 日以内の商業、観光、親族訪問、交流訪問、30 日を超えないトランジットの目的であればビザは必要ありません。また、入国時の申請は、2025 年 11 月 20 日からオンライン申請となっており、パスポートの提示とオンライン申請時に発行される二次元コードの読み込みへと変わっており、入国手続きが容易になりました。

上海に初めて上陸し、中国本土に対する印象は大きく変わりました。中心部へ行くと、観光雑誌にも掲載されている夜景で有名な金融街とテレビ塔の近未来的な建造物があり、川を挟むとまるでヨーロッパのような街並みが広がっています。

上海はアヘン戦争後、南京条約により開港、フランス、イギリス、アメリカによる共同租界が広く行われた都市の一つです。開港以降、上海には多くの人々が訪れました。そのエリアは外滩と呼ばれており、現在では当時の洋風建築は残しつつリノベーションが行われ、カフェやショップになり、若者の街となっています。

そんな洋風の街並みの中に東洋・中国らしい黄金の寺院が存在しており、日本の渋谷や新宿のような近代的なショッピング街と、さまざまな文化が折衷している都市だと感じました。

また、中国国内はキャッシュレス化が進んでおり、地元の小さな飲食店、小売店、タクシーに至るまで、現金はほとんど使うことができません。加えて、中国国内の通信はグレートファイアウォールという仕組みにより、Google や LINE 等の SNS を利用することができません。そのため、決済手段の確保や地図、タクシーの手配まで、事前の準備が必要になります。しかし、準備が整っていればタクシーは 10 分以内に乗車することができ、場所の指定もアプリ内で完結することができます。決済もアプリ内で行われるため、入国の際の外貨両替は最低限に抑えることができます。現地に住んでいる取引先の方々も、「盗まれる現金をそもそも持っていない」と話していたのがとても印象的でした。

中国本土への入国に際しては、アプリの入手など事前の準備こそ大変ではありましたが、いったん入国してしまうと治安や環境面において私の想像以上に先進的であり、歴史的な施設との融合を含めて魅力的な場所でした。今回は、上海周辺の蘇州への訪問もあり、上海中心部への滞在は限られた時間での視察となりましたが、観光地としても魅力的な都市だと感じました。

今後も引き続き香港内外の情報について伝えていきます。



(写真：筆者撮影)

発行 山梨中央銀行  
編集 山梨中銀経営コンサルティング

〒400-0031 甲府市丸の内一丁目20番8号  
☎ (055) 224 - 1032  
山梨中央銀行 URL：  
<https://www.yamanashibank.co.jp/>